

令和6年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	純水素型燃料電池（9.9kW）
製品種別	エネルギー負荷設備（本体設備）
型番	FC-H99PJR1P
会社名	パナソニック株式会社
本社所在地	大阪府門真市大字門真1006
会社WEBページURL	https://holdings.panasonic.jp/
製品紹介ページURL	https://www2.panasonic.biz/jp/energy/hydrogen/

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社電材&くらしエネルギー事業部 電設資材 商品ご相談窓口 06-6780-2551
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業	T. 分類不能の産業	
導入対象となる分野・プロセス	電力使用量が大きく再エネの導入が図りにくい工場での購入電力の低減に活用可能		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	17.6		kl/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—		%
設備・システム当たりの想定省エネ率	29.0		%
導入事例における費用対効果（年間）	1.3		kl/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	26,800,000		円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	500,000		円/年

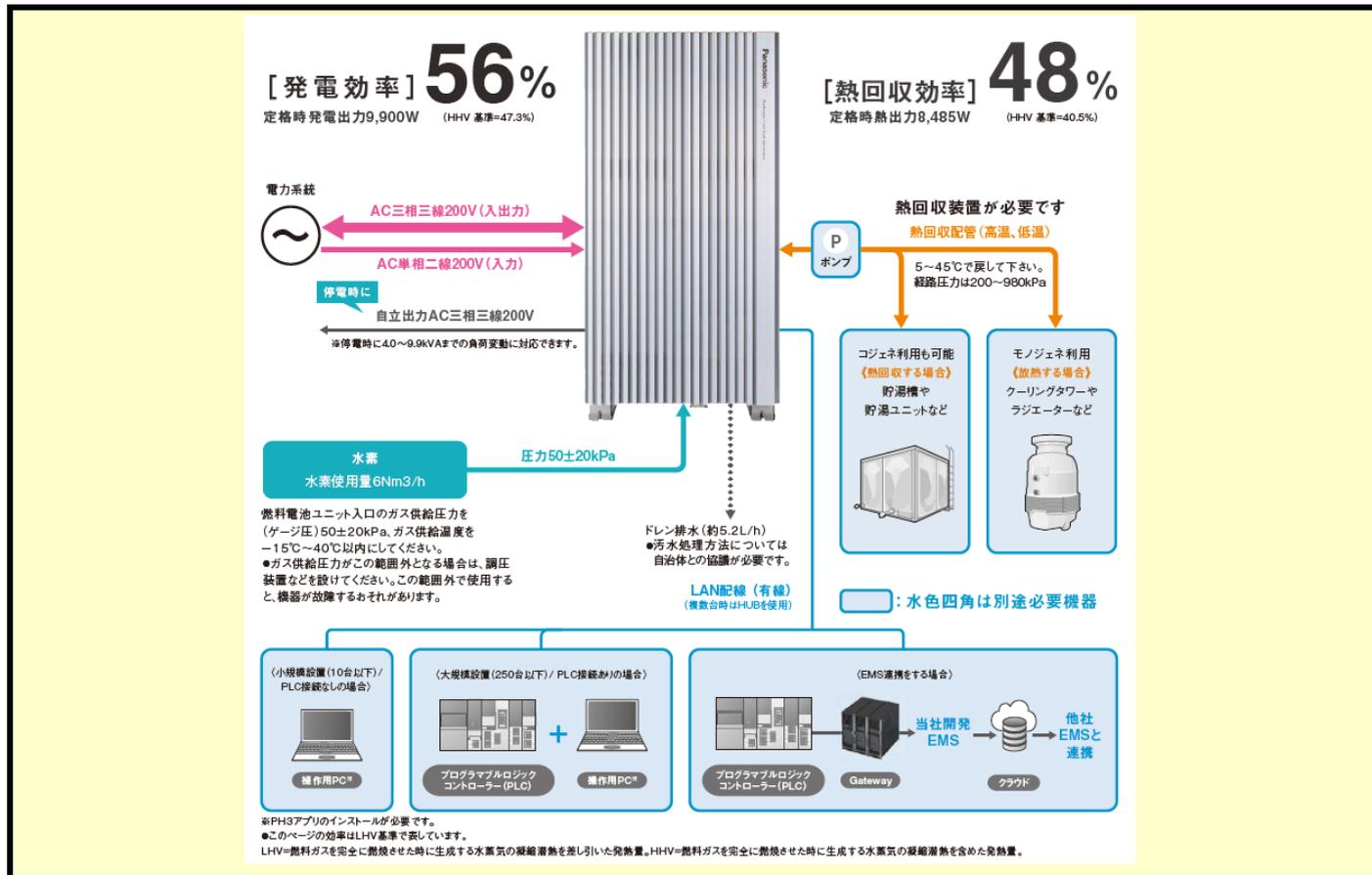
製品・システムの概要

<p>本製品は純水素（水素濃度99.97%）を原料として発電するコージェネレーション装置であり、9.9kW定格出力でクリーンな電力を共有します。 複数台を連結して出力upも可能であり、発電効率56%（LHV：燃料ガスを完全に燃焼させた時に生成する水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた発熱量）を有し、熱を利用することで48%の熱利用効率が見込める創エネ装置です。 本製品の特長としては</p> <ul style="list-style-type: none">■最大発電出力が9.9kWにアップし、設置する規模に合わせた最大出力の設定が可能■出力調整機能により発電計画の自由度がアップ■省スペース化、寒冷地対応、高地対応、塩害地対応で設置自由度がアップ■本体価格を低減し、熱をまとめて処理することで導入コストを削減可能 <p>となっています。弊社は長年家庭用燃料電池エネファームを生産しており、そこで培った技術を本製品に取り入れており、信頼性の高い製品を目指しております。 なお、本製品は9.9kW定格出力で1時間当たり約6Nm³の水素を消費します（定格発電時）。発電効率が高いので、少ない水素量で発電することが可能です。</p>

先進性についての説明

<p>家庭用燃料電池「エネファーム」で培った技術を応用し、信頼性が高く発電効率が高いスタックを搭載しており、高耐性化と高活性化を実現すべく進化させています。 また、エネルギーマネジメントを通じて複数台を任意に連結でき、蓄電池と組み合わせることでお客様の要望に応じた発電出力が可能です。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

